

授業科目名： 保育内容（表現）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名：奥原光 担当形態：単独
科 目	領域及び保育内容の指導法に関する科目（幼稚園）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）		
授業の到達目標及びテーマ 領域「表現」に視点を当て、保育現場で必要とされる様々な表現活動を体験し、考察することによって実践的指導力をつける。			
授業の概要 就学前教育では、幼児が集団生活を過ごす中で、のびのびと自分の思いを表現する力が大切である。その為、幼児期の発達特性を理解し、ふさわしい教育内容と方法を学ぶ必要がある。身体、音楽、造形の表現活動について知識を深め、教育者として豊かな感性を持ち、幼児に寄り添った援助ができるようにする。			
授業計画 第1回：領域「表現」のねらいについて～子どもの表現（表出）とは何か、原初的な子どもの思いの表出を捉える～ 第2回：子どもの育ちを理解する～感性と表現に関する育ちについて考察を深める～ 第3回：保育者としての捉え方～子どもの“表現・あらわし”を敏感に受け止める役割、表現過程の大切さ、他の子の表現にふれるようにする～ 第4回：造形活動についての考察～初期遊びでの描画活動の実態、クレパス、コンテンツ使用の実践～ 第5回：描画活動の取り組みについて～絵の具遊びでの実践～ 第6回：子どもの身体表現と音楽の意味について～音楽を身体全体で感じ取り表現する～ 第7回：子どもの生活体験と、歌唱について意味についての考察と実践～手遊びやわらべ歌などの題材を対象とした歌唱の実践～ 第8回：創作活動の取り組みについての考察と実践～身の回りのものを使っての作品作り（紙などの素材を切ったり、貼ったり等）～ 第9回：子どもがイメージしたものを作ったり、描いたりできる場を作る～粘土、廃材などの活動ができる環境を考え実践する～ 第10回：楽器に親しむ方法～身近な素材に親しみ、音を作り出す楽しさを体験する方法の考察と実践 情報機器を活用し、楽器や創作楽器などと共に、リズムやハーモニーを作る楽しさを体験する～ 第11回：身体を使ってイメージを表現～様々な身体表現の方法を知り、学習指導案を作成し実践する～ 第12回：劇遊びについて～読み聞かせの話から、劇遊び再現の方法について学習指導案を作成する～ 第13回：模擬授業（劇遊びの実践）～学習指導案に基づき、話（物語）を選び全体を構成し、実践する～ 第14回：発表会について考え、模擬体験をする～学習指導案に基づき、子どもの様々な表現の積み重ねを大切にされた発表会を模擬体験する～ 第15回：まとめとレポート			
テキスト 幼稚園教育要領解説（文部科学省）			
参考書・参考資料等「子どもの表現を見る、育てる－音楽と造形の視点から」 今川恭子、志民一成、宇佐美明子（文化書房博文社）			
学生に対する評価 授業での制作作品・発表・実践活動70% リポートによる評価30%			